【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【公開番号】特開2009-14799(P2009-14799A)
【公開日】平成21年1月22日(2009.1.22)
【年通号数】公開・登録公報2009-003
【出願番号】特願2007-173645(P2007-173645)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　15/00　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　21/10　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　15/00　５５０
Ｇ０３Ｇ　21/00　３２６
Ｇ０３Ｇ　15/08　５０７Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成22年6月18日(2010.6.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
長手方向の両端部が軸受によって回転可能に支持された、円筒パイプ状のパイプシャフトを有する回転体において、
前記パイプシャフトの内面に、パイプシャフトの軸方向に対して斜め方向に突出した複数のリブを有し、
前記パイプシャフトの回転と共に前記リブが回転し、前記パイプシャフトの内部の現像剤を前記パイプシャフトの長手方向に搬送することを特徴とする回転体。
【請求項２】
前記パイプシャフトの外周部に高摩擦材質層又は高摩擦弾性体を有し、
シートを搬送する搬送ローラであることを特徴とした請求項１に記載の回転体。
【請求項３】
前記パイプシャフトは、長手方向の一方の端面に前記現像剤の入口を有し、他方の端面に前記現像剤の出口を有することを特徴とする請求項１又は２に記載の回転体。
【請求項４】
請求項１乃至３のいずれかに記載の回転体を有することを特徴とする画像形成装置。